

風俗畫報索引

自
至
十
行
行

R380.5-F99ウ



1200800313084

R380.5

F99



0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
70
1
2
3
4
5

始



風俗畫報索引

卷四

23-8

R
380.5
F99
(4)



夕 子 又 ニ ナ ト テ ツ チ

目次

三九一	三八七	三八六	三七七	三六九	三四六	三三三	三二四	三一五	二八七
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

大正
8. 11. 24
購求

風俗類攷 目次



タリリア

の流行 (四三七、三三)

の流行熱「因入」 (四三三、二六)

大日本帝國大正三年御大典御舉行に因りて

一覽(番附) (四五六、三〇)

体育

の主要は勇武に在り 野口勝一 (二六五、一)

体育會

日本一の落成式「写真入」 坪川辰雄 (二二二、四)

カヤリカイ

二六八十七

太神樂

— 尾形月耕画入 — 大田才次郎 (一〇〇、三六)

— 图 — (五〇、裏絵)

大字神社大 — (工野岡若領郡真同町大字東郷) 口坂弄

耕漁画入 — 上野龍湫 (四三九、二一)

杖杖及び — 图入 — 對原堂主人 (六三、一五)

大々神楽图 — 苔石画 (六三、首) 乙羽解 (六三、二〇)

大弓

— 图 — (七三、裏絵)

大極殿

— 模造 — 北巖仙史 (八五、二三)

大極殿地鎮登

— 图入 — 久保田金僊 (五九、四)

京都 — 宮嶋春齋 (五九、五)

京都地鎮登の式 — (五九、四)

地鎮登遺事 — 柴田篁谿 (五九、七)

大工職

— 图 — (四六、裏絵)

— 图 — 尾形月耕画 對原堂主人解 (四七、六、新撰)

百工图解其八)

大工の符牒 — 河名雅齋 (三六、二四)

大興寺 (遠江國榛原郡萩間村)

— 碑石 — 芝山道人 (三二四、三四)

大國市 (下、同大國神社)

藤井直二郎 (三九二ノ四)

大黒天

—の話 (二〇二ノ三二)

大黒天考り

京都近傍の — 巴足袋 (四三〇ノ五)

大黒舞

—「圖入」 (六一ノ二五、元三各古屋の物貰ひノ内)

—「圖入」 渡部乙羽 (四八ノ一五、江戸市中世渡り種

其四ノ内)

會津地方の新年 — 「坂美耕漁画入」 花溪生 (二〇二)

三)

酒田の — 「圖入」 佐藤古玩 (一三二ノ二一)

太鼓賣

—「圖」 (三九ノ九)

太鼓念佛

— 小野辰太郎 (七九ノ二八)

封巾間

—「圖」 表づか (一三五ノ三一、江戸市中世渡り種ノ内)

大根

尾張宮前 — 三輪青谷 (一三八ノ二九)

大根河岸青物市場

京橋 — 創立二百三十五年祝奉の景況「山本松谷画入」

山下重氏 (一八八ノ四)

大根切干

尾張物産

(三九七、二二)

体操

— 図

(六一、裏繪)

小學生徒 — 及裁縫用解「坂弄耕漁画入」 (六一、二八)

東洋古代の — 術 山下重氏 (三五九、二七)

普通教育ニ於ケル — 遊戯取調報告 文部省

(三三四、二五、三三六、三〇、三三八、二二)

胎藏山

羽後の —

河名雅齋 (二七八、三七)

大藏寺

(羽前國東置賜郡吉野村)

羽前の霊場

横田曉峰 (四一五、三二)

泰山木

—

林天然 (四二二、三六)

太子堂

— (大日本名所図会第八十八號、東京近郊名所圖

会第十三、西郊の部其一ノ内)

大師詣 「寺内八十八ヶ所を以見よ

— 「田入」

田口年信画及解 (二三三、一五、浪花風俗

百圖ノ内)

東叡山兩 — 図

(六一、江戸歳事記ノ内)

大嘗會

「波々廻の木を以見よ

元文 — 「記」田入

井上卓二 (二五、三、二七、三)

御大典量報「写真入」

(四七四、二九、四七五、二七)

御大典後記「写真入」

(四七六、附)

千代の寿「弘化三年二月十三日踐祚吉書奉圖、弘化四年
九月二十三日即位圖、嘉永元年十一月二十一日大嘗會悠
紀殿渡御圖、万延元年三月十八日改元吉書奉圖」

「万葉」 (四七三ノ首)

大聖寺川 (加賀國)

—— 九谷まゝの字 (三二二ノ四四)

太上天皇 「典仁親王を見よ」

大正博覧会

—— 獅 (四五七)

東京 —— 関金武 (四五六、四〇)

大衆寺 (加賀國石川郡富樫村)

—— 凶遠 まゝの字生 (三四九、二三)

大小 「曆を見よ」

帯笑園

—— 供奉記事 松本真法 (四〇七、三)

大通藝

—— 江本定男 (四七〇、六、風俗閑話ノ内)

台徳廟

—— 記 大規修二 (六六、二三)

大急佛

遠江國 —— 神村直三郎 (一九四、一二)

遠江國濱名郡石田村の —— 河合信太郎 (二五六、
四)

大砲

—の創製は東洋に身 山下重氏 (三八三ノ五)

大佛

岐阜の— 漢間山人 (三三四ノ三七)

大佛殿

—の上棟式 (四二二ノ二四)

大佛餅

— 宮島春齋 (六九ノ一〇、豆名物ノ内)

臺北

—の歳まゝと歳旦 紅の家おいろ (二八一ノ一三)

常麻寺 (大和國)

—「因入」 同田竹雲 (三七八ノ二八、大和北葛城郡名勝

誌ノ内)

炬火行列

慶應義塾第二回—大運動會「因入」 福岡神浦

(八八ノ二四)

松炬祭

岩代國岩瀬郡須賀川の—「黒崎修齋画入」 中出鴨

村 (二〇一ノ六)

大丸呉服店

—の廢業 (四一六ノ三二)

大名行列

安政五年上杉家大札行列真圖 (四ノ首)

假裝—「英國コン、トト殿下敷中人主典」(繪及寫真入)

(三三六ノ一五)

假裝 — 「写真」 (四六九、首)

大名登城行列の人形展覧会 (團子坂) (「山本松谷画」)

山下重氏 (一三〇、一)

幕府時代薩摩島津家行列 (用) (二、六)

大文字 — 「聖霊会」を見よ

京都 — 宮島春齋 (四一四、一五)

喜望屋

— 「園入」 去づか (一五五、三一、江戸市中世渡り種、内)

大雄山 (相模国足柄上郡南足柄村)

— 画報生 (三五五、二四)

大柳館

上總 — 址 比、ハヤシ生 (二六一、二六)

大漁踊唄

鉦子 — 蘆園家 (四一八、一一)

喜望屋 — 「新竹」で鄭成功を見よ

— 頭陀袋 統石酒徒 (三四〇、二八)

— の安息日 池田町ケルム (二二二、四)

— の市令 梵石酒徒 (二四二、二八)

— の美人 菅谷久次郎 (四六八、三二)

新竹地方巡遊割記 梵石酒徒 (二三八、三一)

言語

臺灣の逆ニトハ 桔梗 (二五九、二〇)

風俗

— 観風録 統石酒徒 (二二九、九)

— 新年風俗「圖六」 飯田蓋山 (四二八、四)

— の風俗 永井慎津雄 (三六八、一一)

— 風俗一斑 梵石酒徒 (二二三、五)

著人

— 著俗考「圖六」 宮本芳久助 (二二五、一六)

— 土著の新年 伊能梅陰 (三二四、一三)

— 著人の衣類 画報生 (三二〇、一一)

— 著俗図会 (二二九)

— 著地雜俗「圖六」 入江英口語、橋本鯉筆筆記

(一三〇、二六)

— 卑南社風俗 (三八四、三〇)

— 阿里山著人の結婚 画報生 (三三二、一一)

阿里山著の家屋 画報生 (三三四、一四)

生著

— 生著人未ら「写真六」 (四三三、一四)

— 生著の奇習 (三八五、二五)

— 生著の風俗「圖六」 大田才次郎 (一〇一、二五)

— 生著風俗一斑 梵石酒徒 (三二五、一三)

— 生著人の鏡創と酒礼 梵石酒徒 (二五五、四九)

— 東京見物に來た生著人 静岐画 (四二四、四)

臺灣神社

— 祭典 梵石酒徒 (二六一、二)

— の式樂 三浦常太郎 (三七九、四)

臺灣征討

タイ

二五九十四

— 図絵 (九八、一〇一、一〇二、一〇五、一〇九)
臺聖湾土匪掃攘

— 図絵 (一一一、一一五)

田植 早乙女まも見よ

伏久地方の — 小縣地方の — (四〇二、一七)

信濃南安曇郡地方の — 山珍事堂 (二二二、一七)

土佐國 — 及蟬送「圖入」 (二九、九)

田植歌

伯耆日野郡黒坂地方の — 小早川盆磨 (二七三、
三一)

三一)

常陸の — 蘆の國家 (四〇、六)

四日市地方の — 伊達虎峰 (三一六、二七)

田植式

— 図解「二月十一日山梨縣下 — 之圖入」 佐藤松代

(六三、二八)

田植の魅

五代將軍 — 天竹政直画 蓬軒居士 (二四、一〇)

田植祭

大和春日神社の — 天尾夢外 (四〇、七)

桃御用印 (駿河國)

— 膳間田みどり (三六、三一)

唐からし 「十七色」 — まも見よ

唐辛賣

— 田口年信画及解 (二六八) 五、浪花風俗图内

十一味唐辛「同」 花溪生（一三八、三四、江戸市中世渡り種、内）

陶器の作り賣

—「同」 高橋柯亭（二六、九、大道所見、内）

陶器燒附職

—「同」 尾形月耕画 對原堂主人解（六六、一四、新撰百工圖其二十二）

道灌山

—（大日本名所圖會第七十六號、東京近郊各所圖會第一、北郊、部其一、内）

新撰東京各所圖會第十一編、各公園、内（一五五）

刀劍

—を貴重するは古来の風俗なり 山下重氏（七九、二）

陶工

虎溪山脈の — 田中岩次郎（三四六、一八）

道後温泉

— 永井於菟雄（三〇七、三九）

堂山王子神社（福島縣田村郡七郷村大字門込）

— 小泉漲（二六一、二一）

陶磁器

—「同」 大桶燒「九右燒」 徳利印附職「二萩燒、萬古燒」 土見よ

網田窯と高田窯 是水生（三七一、一九）

伊賀の丸柱燒 春迎舎すみれ（三五〇、一六）

遠州の志大呂燒

香雪 (三三二ノ二〇)

尾張自慢、第一瀬戸陶器並に加藤藤四郎傳

醉霞生

士 (一四六、二〇)

京焼、起原 岩田籬菊 (六〇、一七)

古陶窯、奈見 (四〇七、一九)

瀬戸物 三浦常城 (七九、一五)

陶器一斑 岩田鷗夢 (六九、一九)

本邦陶器製造創始の沿革 蕉雨生 (一五二、二七、一五四、

二七、一五八、二〇、一六〇、二二、一六五、一八、一六六、二一、一六八、

二四、一七〇、一八、一七二、二一、一七四、二五、一七六、二一)

堂島

—の信紙 田口年信画及解 (二七六、五、浪花風俗

百園、内)

堂島迷高

四幕時代大坂—の風俗時解 田口年信画及解

(三二八、三)

唐人館

—「園」 渡部乙羽 (四六、一六、江戸市中世渡り種

其四、内)

唐人踊

—「園」 宮崎幸磨 (四〇、一三)

唐人笛賣

—「園」 花浪生 (二一〇、三〇、江戸市中世渡り種、

内)

道祖神

——に就きたり迷信 小山每水生 (三九五ノ二二)

道祖神登

—— 小山每水 (四三八ノ七、信州佐久地方に於ける

一月ノ内)

甲斐國——典圖及解 一林忠及解 (二六ノ九)

信濃國—— 小山珍事堂 (二八二ノ一七)

道祖神祭賽錢集の

——「因」 賀陽生 (三三四ノ五、甲斐ノ新年ノ内)

道中雙六

——「因」 (四九ノ裏絵)

繪雙六 (二二四、七九、民間行事新年ノ祝ノ内)

道明ノ淵 (加賀國)

—— 九谷キヨノ字 (三三九ノ三四)

道了薩埵御供會

——「因」 如電談 (一九二ノ二九)

雁鳥

——の考「因」 太田百祥 (七二ノ二三、七三ノ二三、七六ノ二一、

七九ノ二一、八三ノ二二)

高尾

—— (新撰東京各所園人各第五十八編、浅草區ノ新

其五ノ三〇)

十一代十二代目——に就し 時雨庵琴山人 (五三ノ

二九、五五ノ二七)

三叉に... 殺されし... は誤なり (三三六ノ六)

鷹狩... 鷹狩... 見よ

— 田 (九ノ裏給)

奥州地方の... 坂美耕漁画口給... 花淚生 (二三〇)

多賀城碑

陸前... 芝山道人 (六六ノ三七)

高田城 (越中園)

— 址... 字生 (三七七ノ二八)

高田神社

新撰東京名所図会第十一編各公園ノ内 (一五五)

高田馬場

— 「静雨画入」 山下重氏 (四五ノ五)

高田村

— (高田、雜司ヶ谷) (大日本名所図会第九十二號、東

京近郊名所図会第十七、西郊の部其五ノ内)

高天神城 (遠江國)

— 攻防年表「写真入」 後藤秀穂 (四一七ノ三〇)

高遠城

信府統記諸城記 小村義曉編 (三五五ノ三〇)

鷹巣城 (福井縣坂井郡鷹巣村)

畑時能の城址 水島宣 (三一四ノ三七)

高野長英

— の碑 (二七一ノ二九)

タカ

二五九十九

高湯温泉

— 河名文助 (二六八、三八)

田川舞子 (秋田縣下郷町近世)

— 田代 伏摩古玩 (一三三、四)

施屋

— 田代 武櫻生 (七九、一九、江戸市中世渡り種ノ内)

寶合

— (四〇五、二八)

貝子

— の説 林天然 (三六四、二五)

寶の市

住吉 — (四〇二、九)

寶船

— 守園入 〔 (四一六、五) 〕

— の事 (六四、二八)

— の事 〔田代〕 満都廻屋 (二四、七)

— の説 山下重民 (二四、一〇)

— の図様 〔田代〕 森三溪 (六四、二四)

初夢至 — 〔田代〕 (二二四、二三、民間行事新年の祝ノ内)

寶船賣

— 圖 (一〇六、裏絵)

瀑布

全國、大 — 山下重民 (一七〇、三二)

四谷の浴場 山下重民 (九九、二) 山本松谷画 (全、首)

瀧ヶ洞 (美濃國)

— 伊達すみれ (三四九ノ三二)

薪木

— 運搬 (同九) 賀陽生 (三二八ノ六、甲斐世濟、種ノ内)

瀧川村

— (大日本名所圖會第七十八號、東京近郊名所圖)

會第三、北郊の部其三ノ内)

瀧の湯 鐘泉 (信濃國諏訪郡北山村)

諏訪山浦 — 松東齋 (二六一ノ二二)

瀧宮 躍

西讃の踏舞 — (四一〇ノ八)

拓殖博覧會

— 田入 (四三九ノ一二)

— の開會 (四三八ノ一九)

竹

— の種類と効用 紅の家おひろ (四五二ノ七)

竹葉に鏡文を生ず 道山篤彦 (三〇七ノ二九)

武石村 (信濃國小縣郡)

小縣郡 — の新年 小山真史 (四〇四ノ一二)

草狩

— 園 (五九ノ裏給)

— の園 山本松谷画 (一五二ノ表紙画)

御本丸大奥年中行事九月吹上御庭 — 園 寺崎廣

業画 (五八ノ首) 蓬軒居士解 (五八ノ四)

草摺「富田秋香画入」 山下重氏 (一五〇、二)

武田尾温泉 (根津國有馬郡名塩村)

—「園入」 信太樓 (三七二、二五)

竹の子團子

—「園入」 川崎茶六 (一六六、二〇)

筍(ぼり)

—「山本松谷画表紙絵」 山下重氏 (一六五、三)

竹の下(駿河園)

—の古戦場 三輪忠誠 (三五九、三五)

竹の實

—に就て 画報生 (二五六、二七)

竹屋の渡船

— 杏村 (二八一、一六)

紙の鳥 田島風をい見よ

—「園入」 天籟園主人 (二八〇、一五)

—「各種園入」 (三三四、八〇、民間行事新年の祝、内)

—揚木の遊び 神田老丈 (二〇二、二八)

—考「園入」 山下重氏 (三七〇、二二、三八〇、一九、三九〇、二二)

—と羽子板 い、かしの (二〇六、二六)

—はしと軍用の具なり 山下重氏 (三八〇、二一)

鳳巾 方可舎 (一〇六、二五)

鳳巾 方可舎 (四五二、六七、江戸の俤、内)

萬歳と大風の停止「園入」 (六四、一七)

〇

タ

二〇二

伊勢國三重郡地方の——「圖六」 別所乙也 (三二八)

——「圖六」 (一九)

中京、—— 立田青水 (四七二、一四)

土佐——「圖六」 凸坂御風 (二六、九)

遠江國——揚けの風俗一斑 成瀬真三 (二三三、二)

長崎、—— 泉南漁史 (四四四、四九)

長崎、——揚 珍々亭主人 (二〇六、一一)

長崎の——會「圖六」 羊類居士 (三〇一、五)

濱松の——遊 市川象三郎 (二五二、二〇)

濱松の——揚「圖六」 三浦おいら (四七〇、二六)

濱松名物の——揚介 (四三三、一一)

——「圖六」 林天然 (四二四、三五)

太宰府神社

—— 坪川辰雄 (二二三、二三)

太宰府の大祭 孝躰堂主人 (三五九、五)

多藏庵

——「圖六」 山本昇雲画 (四一四、首)

花車屋

——「圖六」 尾形月耕画 山下重民解 (一三四、二、新撰)

百工圖其五十二)

敲き

徳川時代御仕置其二「圖六」 蓬軒 (五〇、六)

墨算

墨職

小野寝覺 (一三七一)

— 図 尾形月耕画 蓮池畔人解 (一八八、五、新撰)

百工圖其三十一

墨屋(四六) 渡部乙羽 (四六ノ一五、江戸市中世渡り種

其二ノ内)

立川馬

初代 — 傳 時雨庵琴山人 (七七一、七九、七九、七九)

太刀献上

幕府より禁裏へ進献の太刀箱蓋に紅葉山御宮献儀の

花筒 竹内雀翁 (一八八、一)

橋暖記念碑

— 陰幕式 (四一〇、三)

龍 龍を見よ

辰

— 龍 文の屋 (四七六、六〇)

— (龍)百種 (四七六、五四)

千支にちぢむ京都の — 巴山人 (四七六、一八)

韃靼海峡

— 々々見者 (三九九、三一)

手綱

— の事(四六) 草刈庄五郎 (四三、九)

タツノオトシゴ 田舎馬を見よ

龍巻

タツ

三〇四

曉花生 (四七六ノ二六、龍の事ノ内)

利根川の犬 (四二四ノ二七)

白龍天に登る (四八)

辰己屋惣兵衛

の墓 (三五一ノ三九)

建具職

尾形月耕画 蓮池畔人解 (九七ノ六、新撰)

百工圖其三十六

館林

の躰 (四八) 橋本盤 (三四一ノ三五)

大食考 (信濃國)

珍事堂主人 (二〇八ノ九)

館柳灣

の墓 (三二ノ四一)

多度神社 (伊勢國桑名郡多度村)

伊達虎太郎 (四五八ノ四四)

陞格の八坂神社 (三ノ成) (四七六ノ三九)

棚卸

(二二四ノ四三、民間行事新年の祝ノ内)

七夕

對原堂主人 (三〇ノ四)

雜記 (四八) 石川光水 (三二ノ三)

拾遺 (四八) (四六ノ八)

と孟蘭盆 内田芳雄 (九五ノ五)

—と迎ひ火「富岡永洗画」(乙羽) (四四、九)

—、故事を復興すべし 山下重氏 (二四二、二)

—の補遺 山下重氏 (四五、一五)

—星祭図 小林永濯画 (七、四、江戸歳事記、附

図)

—祭 高橋おろか (一八、四)

—祭 方舟會 (四二二、二)

御本丸大奥年中行事七月—祭之図 寺崎廣業画

(五六、首)

御本丸大奥—正中元の式 蓬軒居士 (五六、五)

織女祭 山下重氏 (四三四、一七)

寺小屋—祭の図 富田秋香画 (一六八、首)

星の宮の—神事 (四一〇、六)

○

秋田山王祭—祭画 舟屋積山 (七六、一二)

会津の—祭 春二生 (二三八、八)

羽前鶴岡の女児—祭「図」 佐藤古玩 (二四四、四)

羽前鶴岡町の—祭 花内東方 (一九二、二)

上總—風俗 菅園家主人 (四二四、二四)

熊谷附近—祭 菊坡生 (一六八、四)

静岡縣地方の—祭 香雲 (二七三、七)

信濃松本と上總夷隅の— 香雲 (四一〇、六)

信濃南安曇郡の— 小山珍事堂 (三三七、一〇)

駿河國江尻町の—祭と盃蘭盆會 香雲生

(二四四、二七)

仙臺市の——祭「黒崎修齋画入」 研亭主人 (一九六、八)

仙臺の名物——祭「写真入」 しげたみ (四四九、三一)

土佐農家の—— 鳴波 (四三九、一六)

函館昔時。——祭 瀬ヶ旭軒 (四三四、二二)

北海道——祭、哩 山本生 (二一六、二四)

明治前駿府二丁所の——祭及月見 すゝめや生

(二四四、一八)

七夕踊

——一名小町踊「島崎柳塙画正保年間——画入」 内

田芳雄 (九七、四)

七夕神社 (尾張國)

夕十

——と貸小袖 三浦常太郎 (五六、一三)

谷干城

——子の葬儀 (四二二、二五)

田螺 ぶ吸ロツブをも見よ

種子島

——風俗 (三八九、二四)

田の神

薩摩の——「田こ」 加藤尾花 (二七六、三九)

田の神舞

薩摩支の日の—— 齋雑舎主人 (二五八、七)

煙草

—— 香川薫平 (七〇、一九)

夕二

三六

—「園入」 紫煙山史 (四五六ノ二、四七八ノ二四)

—の禮式 江本定男 (四六九ノ八、風俗閑話ノ内)

—餘談 醒客 (四七四ノ九)

喫煙 富士川丹霞 (九五ノ二五、九九ノ二二)

喫煙禁止 (未成年者) 坪川辰雄 (二〇八ノ四)

國令の未歴々—の起原 浮海 (三二七ノ四一)

薩摩—に就し 齋難舎主人 (三二〇ノ二四)

東京市民一ヶ月の喫煙量 画報生 (三〇七ノ二七)

奉野の—製造「園入」 画報子 (二七八ノ一八)

煙草入 「園入」—をも見よ 江本定男 (四六九ノ九、風俗閑話ノ内)

煙草刻機械製造職

—園 尾形月耕画 山下重氏解 (二四二ノ一四、新撰

百工園其五十五)

煙草屋

—「園入」 渡部乙羽 (四六ノ一六、江戸市中世渡り種

其二ノ内)

—の看板「園入」 春迎舎屋 (三三九ノ一二)

田端

— (大日本名所園会第七十七號、東京近郊名所園
会第二、北郊の部其二ノ内)

—拾遺 (大日本名所園会第七十八號、東京近郊名
所園会第三、北郊の部其三ノ内)

俵迎 「若夷賣」項を見よ

鯛

能地の浮—— (三九八ノ三〇)

鯛網

目出—— 有水生 (二八二ノ二〇)

水島—— (四〇八ノ三八)

足袋 夏—— 鯨をい見よ

—— 雜草 藻紋字彙 (四五四ノ三一、四五五ノ二〇)

—— の事ども 一記者 (四六九ノ三八)

足袋屋

—— 「因入」 渡部七羽 (四六ノ一四、江戸市中世渡り種

其二ノ内)

—— 尾形月耕画 山下重氏解 (二二八ノ一〇、新撰

百工圖其七十五

平得門

得門故蹟の建碑式 画報生 (三六八ノ三)

田布施吹上瀆水神社 (廣見島縣日置郡)

怪戾人を好む神様 (三八八ノ二六)

夕フト

米國貴賓の来遊「因入」 画報生 (三三二ノ二)

塔の「ツリ」

岩代國大沼郡小谷村の温泉と南會津郡——「因入」

坂巻耕漁 (三三八ノ二五)

たほさし

鬚のほい及—— 高橋おろか (二八ノ一三)

多摩川

「カマ」點「カマ」猫塚も見よ

— 點巡り記 乙羽 (五九ノ二八)

— 河畔、點漁「寫真」 (四七ノ首)

— 點漁「富田秋香画入」 山下重民 (二七〇ノ五)

— 春眺「山才松方画入」 山下重民 (二八ノ二)

— の清遊案内「絵及写真入」 (四三四ノ一〇)

江戸名所圖絵 — 全景之圖 (五九ノ〇八)

春の — 「写真入」 鶏成 (四五六ノ三四)

玉川

井堤の — 千種堂端城 (二三二ノ三七)

玉川梁

— 新形の滝衣地「圖入」 大田杏村 (一九〇ノ二五)

玉川電車

玉川鉄関通式 画報生 (三六二ノ八)

玉川村

— (大日本名所圖會第ハ十九號、東京近郊名所圖

會第十四、西郊の部其二ノ内)

玉菊 「カキ」カキ燈籠も見よ

— の墳墓に就いて 黙庵 (五九ノ二九、六〇ノ二九)

玉倉部清泉 (美濃國不破郡玉村)

— 川崎障一 (三一六ノ三四)

玉簾の籠

箱根 — 京都鴨河の納涼「名知永年画入」 二橋生

(七六ノ二八)

珠算

—の思ひ出 巴足袋 (四七五、四三)

玉突

—図 (七二ノ裏絵)

玉造温泉

出雲— 狩野国市 (二三八、二八)

玉取祭

—箱崎ハ幡官を見よ

玉湯村温泉

出雲国ハ東郡—「同」 小川寅一郎 (三五四、三四)

玉泉

—見物の所感「山村耕花画」 阿井飛洋 (四六七)

(一)

玉日姫

福田西念寺—の霊蹟「同」 蓬軒居士 (一七二、三一)

玉姫稲荷

山谷—神社附近「伊藤静雨画」 山下重氏

(四五四)ニ、東京の今昔ノ内)

魂祭

軍人の遺族—の図 山本松谷画 (九五、首)

山下重氏解 (九五、二)

玉屋

—「同」 武櫻生 (七九、一九、江戸市中世渡り種ノ内)

吹—図 (七七ノ裏絵)

多聞天堂奉礼

タマノタマ

三三十一

越後浦佐村

松聲軒主人 (一三七) 五

榎木

薩摩正月七日 | | を立す事

鹽難舎主人 (三〇七)

(一二)

樽入

撰津西成郡三番村 | |

佐藤菴三 (三七八) 七

樽人形

| | (四八)

鴨脚秀克 (三四) 九

達磨市

信濃國岡谷寺八日堂の縁日 (四八)

坂巻耕漁 (三七九)

九

信濃國八日堂の | | (山下松谷画入)

魁花生 (一八五)

(四)

前橋の | |

坪川溪碑 (六四) 二

武藏國北多摩郡拜島村の | | (四八)

通じ樽足

(二八〇) 五

達磨寺

| | 岡田竹雲 (三一六) 三六、大知北葛城郡名勝誌

(内)

達磨職

| | (四八) 渡部乙羽 (五三) 一一、江戸市中世渡り樽

其五(内)

樽神樂

| | 山王祭 乙羽 (四三) 一四

檀溪

尾張國——の勝 續田保考 (二五六、三六)

端午 五月人形 五月幟 鐘柄、高蒲を七見よ

—— 菱川師宣画 (四四九、首)

—— 社会教士 (二八、四)

—— 考 山下重氏 (五、五、六、七、七、五)

—— 市井图 (六五、三三、江戸歳事記ノ内)

—— 旗幟を樹るの説 山下重氏 (五三、三)

維新前江戸歳事記、五月五日——節会の图 小林永

濯画 (五、四)

御本丸大奥——の御祝 蓬軒居士 (五三、五)

御本丸年中行事、五月粽調進图 寺崎廣業画

(五三、首)

貞享年間——の先景图 (四〇、八、四)

東都歳事記所載——之图及解 (二九、一、一)

○

阿波國徳島四五月——の節句「图」 團膳舟 (一九〇)

(一七)

會津北部——の節句 春二生 (二三五、三)

羽前國東田川郡鶴岡町の—— 莊内東方 (二一〇)

(二)

加賀國鶴来町——の節句 内田ツゲらふ (二一〇)

(一)

鹿島町の四五月節供 堀田良濟 (三六四、二)

静岡市——の節句 香雲 (三一六ノ五)

津島の—— 花東一佳 (二三五ノ四)

支那南部の—— (三九七ノ三一)

團子 子産備—— 子言問—— 店を山見よ

喜八—— 方寸舎 (二四二ノ二三)

團子 縮荷

山形の赤豆餅地藏—— 河名雅齋 (二六七ノ一〇)

團子 賣

——「團子」 賀陽生 (二七三ノ九、甲斐國世渡り種ノ内)

——(伊勢四日市) 春庭舎すみれ (三三〇ノ六)

断食

成田山の——者 子成田新膳寺を見よ

誕生 子産産を見よ

誕生日

——の祝 山下重氏 (二〇〇ノ一八)

吉屋湾の—— 永井根津雄 (三八一ノ三三)

短冊祭

尾張國一の宮の—— 川崎千虎 (五一ノ一一)

男色

——「團子」 毎の家 (五八ノ二、五九ノ二、六〇ノ一二、六二ノ一、

六六ノ一八)

丹前風呂

—— (三〇三ノ九、新撰東京名所園会第二十二編、神田

區の部ノ内)

波通

堀

画報生 (三五七ノ四二)

短艇競争

— 図

(四二ノ裏給)

子

子ノ八運送屋

字花運送屋

画報生

(三五九ノ一)

知井村蘆生

丹波國—の風俗(圖)

武島恒太郎

(四八ノ一〇)

ちノき(刺筍、ひなやのすしき)

—、ほむだはら、べらぼり

今井貞吉

(四四ノ三)

中宮温泉 (加賀國石川郡)

— (四六六ノ四九)

重藏神社

能登國輪島町字河井町—

の略記

室岡良作

(二七〇ノ三五)

中元 正盃蘭富 正盃中奇物を見よ

忠臣蔵

假名手本 | 浄瑠璃 紅の家おいろ (二四八ノ三一)

中禪寺湖 日光を見よ

中尊寺 金色堂を見よ

関山 | 桔梗 (三四三ノ三一)

陸中国西蝦井郡関山 | 蕉風生 (一九六ノ二六)

住宅 | 左文郎 (四五二ノ二五、随感録ノ内)

中膳 大奥を見よ

地紙賣

| 秋の屋主人 (三九三ノ一七、江戸風俗句解ノ内)

力持 | 〆〆〆 (二四八ノ三五、江戸市中世渡り種

ノ内)

蓄音機

| 〆〆〆 高橋柯亭 (二一六ノ八、大道所見ノ内)

筑前琵琶

| (三九二ノ一九)

竹生島辨才天女蓮花會 蓮花頭を見よ

| 西川大次郎 (三三ノ九)

地藏尊

江戸時代 | 松川碧泉 (四六五ノ五八)

子カキ

三三六

佛作りの出現(山谷)——の市腹籠(写真) (三三ノ九)

(四四九ノ三四)

地藏登

名古屋矢場—— (四〇一ノ七)

地震

震災豫防法 守田寶舟 (四二ノ五)

大——の前徴並に其傳播力 山下重氏 (三五ノ二)

○時代順

安政江戸——記事(圖入) 花見處士 (三五ノ二五、三六ノ

一六、七四ノ一三)

安政大——の圖解(二年乙卯十月二日関東大——江戸吉原焼

亡(圖) (二二ノ二一)

安政大——の碑石 伏藤楠太郎 (三三〇ノ四〇)

安政二年十月二日夜亥下刻江戸大——大火場所一

覽圖 (三五ノ二四)

明治二十四年十月濃美大——(圖入) (三五、三六)

東京大——(明治二十七年六月二十日)(圖入) (七四ノ三)

東京大——三崎座劇場混雜之圖(明治二十七年六月二十日)

尾形月耕画 (七四ノ首)

洪水——被害録(明治二十九年八月三十一日秋田縣)

(一二四、一二六、一二八)

東京府下の強震(明治二十九年二月二十三、二十四日) 画報生

(三三八ノ四一)

臺灣の大——(明治三十九年三月十七日)(圖入) 画報生

(三三八) 三六、(三三九) 三五

三月十三日強震(明治四十二年) (三九五) 三七

關西地方の震災(明治四十二年八月二十四日近江國)「寫真」

(四〇〇) 三〇

地震計

—— 坪川辰雄 (九五) 二一

治水

—— の義務を論ず 山下重氏 (一二七) 一

知多郡 (辰野園)

新年海 紅の家おろろ (二六四) 三七

血塚 (伊勢國)

—— 春廬舎すみれ (三二四) 三六

秩父石龍山の岩窟

—— 「酒」 川上川陽 (四五七) 八四

地鎮祭

—— 「大極殿」 を見よ

地方青年団体

—— 概況 (三三四) 九

千重縣

—— 房總の音風習 林天然 (三八九) 三二

千劔破城

—— 河内國 「酒」 静崎敬史 (五三) 二〇

地萬歲舞踊唄

—— 加賀 「酒」 南山人 (二三〇) 三三

地名 「東京」 地名を以て

千々一々

三百十八

—の起原 樂齋主人 (四六三、二四、四六四、二四)

— 廻國雜記に現はれたる— 松川碧泉 (四七七、二五)

— 月の町村名 三月を見よ

叙目 三深達を以見よ

茶

—を嗜む國民 澤村真 (四六七、八)

製—玉露の事 三浦常太郎 (四五、二一)

煎— 官島春齋 (六九、一〇、京名物ノ内)

茶あじ祝

—「園」 石塚空翠 (三九、一五)

長距離騎乗

— 画報生 (三五四、一二)

定齋賣

—「園」 (三三ノ裏絵)

醸造祝

根津御影町— 伏藤菊三 (一五六、一八)

燈花の占 チヤウジカシラウラナヒ

— 河名立助 (三一六、四一)

長壽

— 橋本繁 (二〇〇、三一)

— 人名帳 あしのは (四五三、一九、四五四、二四、四五五、

二八、四五六、三九)

日本—者傳 杖天然 (四六六、二三)

長曾我部威親

千ヤ

二百十九

提燈
——の首塚(京都) 春迎舎葎 (三三九ノ三五)

——沿葎葎 高橋おろか (二七ノ一六)

——及行燈「固」 天章堂亥子 (二八ノ一三、三二ノ一三)

——考「固」 伊藤元延 (七七ノ二五、九三ノ二一、九九ノ二二)

大坂の祭—— (三九九ノ二四)

提灯賣

—— 宮島春齋 (一五四、七、京都賣物屋風俗ノ内)

提灯行列

—— 春齋主人 (三一六ノ六)

挑燈職

—— 尾形月耕画 對原堂主人解 (四三ノ六、新撰)

百工圖其四

提灯作り及画師「固」 (二四ノ三五、江戸市中)

世渡り種ノ内)

提灯祭

—— (四日市) すみれ (三三四ノ七)

三河一色の大—— 皇堂 (二一六ノ三)

提灯屋

——「所田曲江画入」 画報生 (三三〇ノ七)

長存

——の奇祭 寶田洪水 (四五二ノ一九)

町人 町人の歳首登城

町人の歳首登城

江戸——富田秋香画入 太田香村 (一八〇、二一)
長松山僧

——「園入」 (八五、二、江戸市中世渡り種ノ内)

茶賣 ——「園入」 賀陽生 (二七二、九、甲斐國世渡り種ノ内)

慶安頃——図解 (五一、一五)

明暦頃の——図解 (五一、一四)

茶師

——「園入」 武櫻生 (七九、一九、江戸市中世渡り種ノ内)

茶席

三ツ石の—— 對月庵虎峰 (二七〇、一五)

茶道

尾張名古屋の茶事 三輪青谷 (一三〇、七、一三七、一八)

掛字掛物の由来をハ——の起原(明良洪範抄録)

角田青ま (一〇、二〇)

喫茶邊芳「園入」 時雨庵翠山人 (二九、一四、三一、一六、三四)

一八、三八、二〇、四五、二一、四七、一七、四九、二五、五〇、一七、六〇、一九、
六六、二二、七九、二二、七六、二二、九三、二八、九七、三三)

茶の味 芝山道人 (一三七、二一)

東西両京の—— (三八四、三七)

茶立者

—— 笹の家 (一七二、二七)

茶漬屋

江戸の—— 櫻田閑人 (四六七、一七)

茶壺の道中

—— 椎園信成 (二六八ノ一〇、二七三ノ二一)

御茶壺の事 芝山道人 (七六ノ一一)

茶摘

—— 岡 (二〇ノ裏絵)

四日市近在り —— 加藤讚秋 (三三八ノ九)

茶番

—— 大久保範雪 (一〇八ノ二六、一三二ノ二六、一三二ノ二四)

千ヤブ屋

名物 —— 横行生 (四六五ノ四六、蟹港七不思議ノ内)

茶碗

徴古館

—— 持 —— を見よ

—— 竣工 (四〇一ノ一八)

伊勢國山田の —— (三八ノ二三)

徴兵

—— 山下重氏 (二〇一ノ二)

重陽

—— 山下重氏 (四七ノ三)

女學生

—— 田口年信画及解 (二六八ノ五)

女官

近世 —— の服装「團入」 鈴木弘茶 (五ノ一二)

女教員

—— の服装制定 画報生 (三七二ノ一〇)

女工

名古屋紡績所工女の風俗〔四六〕 三輪青谷 (二四八)

一三)

女子やわすけの祝

— 山下重氏 (二〇〇ノ一八)

千代田踊

— 東京新橋の — 画報生 (三三八ノ二一)

ちよろくれ

— 〔四六〕 花淚生 (一三八) 三五、江戸市中世渡り種ノ内)

— 安政年間時給策 — 土川臺北 (七二ノ二九)

ちよろけん

— (六二ノ二五、元三名古屋の物貰ひノ内)

— 〔四六〕 榎野半四郎 (一五六ノ六、京都風俗十二月ノ内)

— 〔四六〕 (三八、半徳画、維新前京都正月の標ノ内)

知立神社 (三河國碧海郡知立町)

— の藤花と燕花子 千種常城 (二五二ノ三六)

縮緬

— の沿革 中山嘉三郎 (三二四ノ四一)

鎮遠錦

— 緞襪の實況〔四六〕 福同袖浦 (九九ノ二八)

陣笠製造職

— 〔四六〕 尾形月耕画 山下重氏解 (一六〇ノ一五、其撰)

百工圖其六十二)

鎮火式

千代田

二五二

成田山新勝寺の——式 (四四二九)

成田の——式 (四四二九) 画報生 (三三六ノ一六)

豆打散油 (四四二九) 小山田興清 (三八ノ二四)

進放

—— (四四二九) 蓬軒台士 (五二ノ九、徳川時代御仕置ノ内)

通園柔屋

—— (四四二九) 椎の舎生 (二六四ノ三八)

通信

驛邊治華園 (二八ノ首)

杖

考へ、——、書生のステツキ圖 (八三ノ裏絵)

塚

古墳々々も見よ

江戸時代、——

松川聖泉 (四六六ノ二六、四六七ノ三五、

四六八ノ三四、四六九ノ三二、四七〇ノ一九、四七一ノ二五、四七二ノ二四、

四七三ノ一九、四七四ノ二二、四七五ノ三九)

塚原ト傳

——の墓 塚原鹿御 (三三八ノ三五)

——の墓 (四四二九) (三四七ノ五二)

つかひしめ 神使を見よ

使の者 傳使を見よ

—— (四四二九) 表づか (一一五ノ三一、江戸市中世渡り繪ノ内)

櫛巻職

——圖 尾形月耕画 蓮池畔人解 (一一一ノ八、新撰

百工圖其四十六)

桐ノ柱

土佐の—— 今井貞吉 (三八、二三)

月

—— 千種堂婦娥 (二六〇、四二)

—— の町村名 婦娥 (四六四、四、四六五、四九)

月瀬

—— 杉田梅見の琴圖 (六六、一一)

月見 三十三夜をも見よ

—— 菱川師宣画 (四四九、首)

—— の図 宮川春汀画 (一五〇、表紙画)

各地の観月 (二二六、二五)

元和年間武家観月之図 山田敬中画 (四五、首)

御本九大奥年中行事八月御根引及——之図 山田

敬中画 (五七、首) 蓬軒居士解 (五七、一五)

信濃南安曇の十五夜 小山珍事堂 (二三八、八)

十五夜——の図 小林永濯画 (八、六、江戸歳事記

の附図)

天保年間隅田川——図 (東都歳時記抜出) (五八、二九)

浪花の—— 佐藤菊三 (一七二、七)

八月十五夜 春熱老漁 (四五、二七)

濱名湖上観月の図 宮川洗圭画 (二二二、首)

明治前駿府二丁町の七夕祭及—— すゝのやせ

(一四四、一八)

良夜墨水看月之図 (六七、五、四、江戸歳事記ノ内)

築山御前

—の墓 松下玉泉子 (二六一ノ五)

頭巾

「おこし」 — を見よ

机島

能登 — 五峰庵 (二四〇ノ五)

筑紫等

—の由來 玩古道人 (八五ノ一九、八八ノ三)

筑波神社

—大祭之図 星湖画 (四〇八ノ首)

—の祭典 (四〇九ノ四)

筑波山

—の圖 堀田良濟 (三六八ノ六)

秋 — 横田曉峰 (三七四ノ二六、三七六ノ二三、三七七ノ二)

筑摩祭

—「圖」 醉霞居士 (七二ノ一)

信州 — 小山珍事堂羊狂史 (一三二ノ二)

鶴嶺

— 敷島道成 (二四六ノ二)

九十九曲 (築巻圖)

—の絶景 池田リナ (二四三ノ三)

能登の — 五峰庵 (二四二ノ四)

九十九橋 (福井市)

— 福田菱洲 (一三四ノ三)

— 千種堂晴成 (三五二ノ三)

造菊 菊細工と見よ

園畫 小學生徒毛筆画图解「及美耕漁画」 (五八ノ一八)

附木職 尾形月耕画 對厚堂主人解 (四〇、一七、新撰)

百工图解其一

清物賣 「園」 賀陽生 (二七三ノ九、甲斐國世渡、種ノ内)

辻子 江島、鶴沼、一、金澤名所圖会 (一七一)

厨子 御—黒棚、事「園」 (二六ノ九)

御—棚、山道具「園」 (二八、一五)

辻賣 —「園」 (三八、裏絵)

伊勢四日市、— 伊達虎峰 (三一〇ノ三)

辻台「園」 花渡生 (一一二、一三一、江戸市中世渡、種ノ内)

辻君 目夜鷹をも見よ

—「園」 (一五二、裏絵)

辻番 —「園」 (三九ノ裏絵)

津島神社

津島の四正月 (四六五、五七)

津島祭「園」 大川通久 (三ノ一三)

土崎湊

秋田——の祭礼 松隱生 (一六六ノ五)

竹筒粥縁日

駿河屋空藏の—— 香雲 (三三四ノ五)

つ、け (食物)

——く話 三水人 (六六ノ一一)

躑躅

——略記 藜菴 (五三ノ二三)

越中國——か岡の—— 瓦山人 (二一〇ノ三二)

大久保——園「山本松谷画」 山下重氏 (九一ノ一〇)

三清池の—— 秋元三者 (二一〇ノ三二)

館林の—— 刀寧釣人 (二一〇ノ三二)

館林の——「岡」 橋本繁 (三四ノ三五)

名古屋天道山の—— 十種堂晴娥 (二一〇ノ三二)

能登鹿島郡の—— 池田カキ子 (二五二ノ三六)

富士神社の—— 塩澤松風 (二一〇ノ三三)

鼓

—— 吾青堂逸人 (八二ノ一七)

葛籠細工人

——岡 尾形月耕画 山下重氏解 (一三七ノ一二、新撰)

百工岡其四十九)

綱すき

——「岡」 渡部乙羽 (四七、一四、江戸市中世渡り種)

其三ノ内)

索引

—— 笹の家 (二八〇ノ一〇)

薩摩中秋——考 尾花生 (二七三ノ二七)

海嘯

大——年代記 坪川辰雄 (一一〇ノ三三)

大——被害録 (明治二十九年六月十五日三陸の——)

(一一八、一一九、一二〇)

相模沿海の—— (明治三十五年九月二十八日) 画報生

(二六〇ノ三四)

三陸地方地震津浪に付き地質學上の考説 巨智部

忠承 (二九ノ一、二二〇ノ一)

静岡縣田子浦の—— (明治三十二年十月十五日)「四入」

(一九九ノ三七)

深川洲崎の——「画及写真」 (四二二ノ三三)

網漕

—— 図 (七六ノ裏給)

角樽

—— 図 (一八〇ノ裏給)

角筭

—— (大日本名所図会第九十號、東京近郊名所図会

第十七、西郊、部其三ノ内)

角筭、十二葉

——「古図入」 山下重氏 (四四九、一、東京の今昔ノ内)

枳湖

——「道」地圖入」 野々勝一 (一九四ノ二五)

椿椿山

——「墓 (二八二、四〇)

ツボンボ遊び

廣島市中新年の—— 文屋汀蘆 (一五六、一六)

妻

細君名称の疑 野口勝一 (三二、三四)

細君名称の疑に就し 峯住吉史 (三三、一九)

爪紅

久留米地方婦女の裝飾 泉南漁史 (二四三、一三)

摘草

—— (四四四、五)

——「罔 洗主画 (四一、裏絵)

——「の罔 山本松谷画 (二〇、表紙)

——「之罔 山本松谷画 (一五七、二〇)

佳人の—— 喜多川歌磨画 (四四四、首)

関屋の里の—— 山下重氏 (一一〇、二)

積夜具

三夜具 鶴先美 (四八、二六、古今葉話、内)

津山城

美作罔——「罔入」 関養次郎 (五五、二一、五六、二〇、六二)

(二四)

梅雨晴

——「宮川春行画入」 (四四七、一九)

釣魚

神戸のすなり

内藤麟莊 (一四〇、一四、二四二、一三)

釣史一斑「図入」

渡辺義方 (二四三、一七、二四九、二二、

二四七、八、二四九、一〇、二五二、四、二五三、一、二、二五五、一九、

二五六、八、二五八、一七、二六〇、二三、二六五、二〇、二六七、一七、

二六八、二〇)

東京湾奇観覽、脚立釣「図入」

文屋汀蘆 (二四六、一〇)

釣草賣

「図入」

花溪生 (一七〇、三九、阿波徳島の風俗ノ

内)

釣橋

浅草公園地奥山

「真景」

鶴

「の説

林壽祐 (四三八、三三、四二九、三六)

「の説

久永章武 (三四五、二一)

動物園の丹頂

ちどり生 (三三四、二二)

鶴御成

「の図

ニセ為一 (一一、五、幕府年中行事ノ内)

將軍「の事

大川通久 (一六、三二、三六)

將軍「の事正誤

大川通久 (一六、一九)

鶴岡天満宮

(羽前圖)

「の祭礼「山平松谷画入」

佐藤古玩 (一一二、七)

鶴亀

「考

山下重氏 (八三、一八)

——松竹梅の説 十八公舎主人 (七ノ一三、九ノ一五)

鶴亀舞

薩摩苗代川の—— 鹽鷄舎主人 (三四ノ二四)

劔山

越中——探檢 瓦山人 (三五ノ二九)

鶴島

出雲の—— 狩野國市 (三四ノ二七)

蔓橋

土佐國香美郡——「園入」 福島政行 (二七ノ一一)

鶴舞公園

——の新設 千種堂常時娥 (四〇ノ二五)

手

得手勝手番附 (四三九ノ三一)

手遊い賣

——「園入」 画報子 (一一三、二八、江戸市中世渡り種ノ内)

——「園入」 うきよ (一四六、三五、江戸市中世渡り種ノ内)

——「又この、兎、猿のきりぎりす」 「園入」 うきよ (一五四、三五)

江戸市中世渡り種ノ内

庭園

園林業書(節録)「園入」 小澤圭二郎 (一三乃至二四ノ

附録)「第一四乃至三六節各冊ノ末尾、添付した」

韓國事情(寫真六) (三八八、二八)

韓國の併合 (四一四、三)

避暑于鷄林 野口勝一 (七六、一)

風俗

—の風俗 (三八三、三九)

—風俗 静岐色

鷄屋 (四二四、首) 洗濯及砧 (四二六、四)

毛拔、カル木屋 (四二七、四) 石合戦 (四二八、四)

結婚式一團 (四三二、首) 水汲み (四三三、首)

—風俗 静岐生 (四三二、二七、四三二、一五、四三六、

一三、四三七、三一、四三八、四六、四三〇、七、四三二、四三)

朝鮮館

— 小島壽堂 (二七九、二四)

朝鮮人

—の風俗略解(四〇) 米山人 (七七、六)

朝鮮の人物解 大田才次郎 (七九、七)

朝鮮人考 三人考を見よ

朝鮮婦人

—洗濯の歌 左塵惚樓 (四三五、二四)

朝鮮來聘

朝鮮信使登城礼式 方寸舎 (七四、二四、七六、七、七七、五、

七九、五、一〇八、一二)

新始 起工式を見よ

手形交換所

チウイチカ

二百三十五

東京 | (三七ノ二四)

出替 | 「ケ」下七 忠孝公人 | 見

| 田口年信画及解 (二五ノ一〇、浪花風俗百图、

四)

手靴

| 图 (九〇ノ裏絵)

手紙

伊勢名家手簡 有濠图風 (二五ノ三二、二七ノ三一、

二九ノ二八、三三ノ二六、三五ノ三一、三七ノ二七、三八ノ三二、

三四ノ二九)

大日本帝國信書往復沿革图 (六八、七六、八八、首、

日本釋迦の沿革ノ附圖)

手車賣

| 图 | 天幸堂亥子 (二七ノ一七)

手品

| 尾形月耕画 | 大田才次郎 (一〇〇ノ三七)

| 師 | 图 | (七四ノ二九、江戸市中世渡り種ノ内)

西洋 | 图 | (七二ノ裏絵)

鐵

砂 | 採取 | 写真 | 画報 | (二七ノ四)

鉄火

| 事並に蒲生時代山公事の利状 | 春之生

(二三八ノ二三)

鐵道

鐵道 五千哩祝賀會 三浦常太郎 (三四一、八)

鐵道 論各地に起る 珂北仙史 (四六、一)

鐵道 帝國最初の 開通式圖説 (四三四、一六)

鐵道 北陸 全通 三浦おいろ (四四五、四八)

鐵道 開通式 近藤競四郎 (二〇〇、七四)

鐵道 橋梁

鐵道 枕打 岡又 耕 細雨柳子 (一六五、八)

鐵道 馬車

鐵道 圖 (九一ノ裏給)

丁 稚

丁 岡又 花渡々 (二一〇ノ三〇、江戸市中世渡り種

丁 内)

鐵 砲

鐵 砲 辻家勤仕録 内藤誠 (二六四、九)

鐵 砲 師

鐵 砲 圖 蓮池畔人解 (八五、一〇、今様職人盡圖解

鐵 砲 内)

鐵 砲 祭

鐵 砲 龍爪の 香雪 (二六八、四)

鐵 砲 手取川口 (加賀國)

鐵 砲 九谷まきの字生 (三五九、三五)

鐵 砲 手習 手習字 寺小屋をり見よ

鐵 砲 手習 師匠

鐵 砲 手習 子供と花見之圖 (三ノ六、小林永濯画、三月向

テウレナ

三番目ナ

島花見之図ノ内

てふ 三七面相と見よ

蝶々 (玩具)

岩城 — 「四八」 (二〇ノ二〇)

蝶々賣

— 「四八」 渡部乙羽 (四五ノ一三、江戸市中せ渡り種

ノ内)

出前持

蕎麦屋の出前、蒲焼屋の出前圖 (六ノ七、江戸市中せ

渡り種ノ内)

手毬

— (三四ノ六七、民間行事新年の祝ノ内)

手鞠

— (四日市) 伊達虎峰 (三一八ノ二四)

伊勢宇治山田地方 — 荒木田晃重 (三二二ノ三七)

伊勢四日市市地方 — 伊達虎峰 (二六五ノ二六)

加賀金澤の鞠唄 大屋煙故 (二二一ノ二七)

上総地方 — じ、ハヤレ生 (二四〇ノ九)

金澤 — 五峰庵 (三一六ノ二八)

埼玉縣北埼玉郡附近の歌 雲霞庵花山 (二七八ノ二七)

駿河安倍郡地方 — 香雲 (三四三ノ二三)

津島の — と童謡 花東一佳 (二三八ノ二五)

甚将校の — 画報生 (三二二ノ三一)

常陸潮来 — 小島寿堂 (二六一ノ一七)

テマ

三四三ノ二

福岡地方の

養家雄 (四〇七ノ一六)

豊前別府所の

立花章 (三六四ノ二八)

本邦各地

坪川辰雄 (一〇六ノ二九、一〇八ノ

二五、一一〇ノ三一、一一二ノ一九、一一七ノ二二、一一九ノ二六、一二五、

二九、一三七ノ二七、一三〇ノ三三、一三二ノ三八、一三四ノ二七、一三七ノ

二五、一四〇ノ二二、一四二ノ二二、一四四ノ三〇、一四六ノ二五、一四八ノ

三二、一五〇ノ二六、一五二ノ二八、一五八ノ二六、一六〇ノ二九、一六五ノ

二〇、一六六ノ二五、一七〇ノ二四、一七二ノ二九、一七四ノ二八、一七六ノ

二五、一八〇ノ二九、一八二ノ二九、一八七ノ二三、一九二ノ二五、一九四ノ

二四、一九八ノ二八、二〇〇ノ二二、二〇二ノ二二、二〇七ノ一九、二〇七ノ

一七、二四二ノ二二、二四五ノ二四、二五二ノ二三、二五三ノ二一、二五五ノ

三〇、二五六ノ二八、二五八ノ二二、二六二ノ二一、二六五ノ二七、二六七ノ

二九、二六八ノ三一、二八一ノ三一、三二〇ノ二九、三三四ノ二九、三三六ノ

二九、三三〇ノ二九、三三二ノ三〇、三四九ノ二〇、三五〇ノ二二、三五五ノ

二六、三六八ノ二三、三七二ノ一八、三七六ノ二七、三七七、一七、三八一ノ

二六)

水戸の謡

堀田良濟 (三六四ノ三八)

米子地方の

吐月山人 (二六五ノ二七)

寺入歌

越後國の

池田ウケろ小 (一五八ノ一三)

寺子屋

一

蓬軒居士 (一六六ノ七、一六八ノ二、一八五ノ八、

二〇一ノ一四)

一の書初尾形月耕画入

大田才次郎 (一〇六ノ五)

江戸時代あふむせき 千種園江戸散人 (二七六、三四)

江戸時代の——と儒者詩人 方寸舎主人 (四五六)

五)

寺崎廣業

風俗画報の懐旧 寺崎廣業 (四六九、一六)

寺島村

—— (大日本各所園会第八十號、東京近郊各所園会
第五、東部の部其二ノ内)

照島

薩摩國—— 鹽雜金 (二四二、二七)

天

——の字左右競 古田春川 (四〇二、三六)

天一坊

——の實説 画報生 (三五五、三九)

田樂

親王子神社——記並考證 山下重氏 (七六、三)

田樂屋

——「園入」 草香書房主人 (二七八、六)

田樂焼

—— 山下重氏 (二〇八、一五)

田樂「園入」 武櫻生 (七九、一九、江戸市中せ渡り種

ノ内)

真崎の田樂 秋の屋主人 (三八六、二一、江戸風俗句

解ノ内)

傳記 子時人、子藝人を以見よ

天氣占

— (二六、一九)

天狗

— 馬淵漁史 (四三、二四)

— 神名帳 五明庵翁翁 (三四六、四〇)

轉言

信濃國の — 小山珍事堂 (二七四、二一)

電車

— 市營 (四二四、九)

— 貨直上への夜間運轉 同野駱 (三九二、二)

— 鉄道 野口勝一 (三二二、一)

— 風俗通 画報生 (三一三、一二)

電車「圖入」 (一七、一五)

東京の — 鉄道 桔梗 (二七六、二〇)

花見時の — 画報生 (三一六、四一)

傳書鳩

— 圖 (六六、裏絵)

天神 七 — 四、七、見よ

天神講

薩摩の — 鹽雜金主人 (二七六、五)

天神囃子

越後國魚沼郡の — 松声軒主人 (一五二、一八)

天神祭

大坂——「酒入」 田口年信 (二三五ノ一三)

大坂の—— (三七ノ一四)

傳説 三信濃國一傳説をも見よ

——の神杉 三杉を見よ

江戸の——其一、遠く又血潮連(伊達綱宗、万治高尾、島田

重三郎) 島田予雨 (四七ノ一九)

江戸の——其二、三味線塚と猫塚 寺丁字 (四七八、

二四)

兎茶屋の—— 島田予雨 (四六五ノ六九)

本朝俗談志 菊岡祐涼 (二五三ノ四一、二五八ノ四〇、二六一、

二五、二六、二四二、二六四、四四、二六五、三七、二六七、二九、二六八、

四〇)

本朝俗談志の解答 荒木周道 (二五五ノ四九)

本朝俗談志に對する解答 香雪 (二五八ノ四二)

傳染病

明治四年レバリア地方悪性——豫防の御達書

香雪 (三一八ノ二七)

纏足

支那婦人の——に就て 天籟生 (三八ノ一三)

天竺牡丹

—— 桔梗 (三五〇ノ一六)

天長節

—— 山下重民 (一三七ノ二)

——の賜饌 画報生 (三五四ノ二八)

祥雲瑞霽(大正第一次)——祝日(写真入) (四五ノ二)

民家——を祝するの圖 山本松谷画 (二七ノ首)

傳通院

——學寮のセツ坊主 蓬軒居士 (二二ノ二五)

テントコ祭

熱池の—— 春迎會すすめれ (三五ノ三)

電燈球

新式—— (三九ノ一三)

傳燈寺

金澤の—— 竹亭白山 (二五八ノ三三)

テントウ念佛

—— 柳涯 (二四ノ九)

天徳院

金澤—— 辰川鑛作 (二八三ノ三八)

奥都三十年祭

——圖会 (一六三)

天王寺

(文政) 千日考をも見よ

天王寺

(江戸中) 高藏をも見よ

天皇陛下

——の御服制の圖入 (四五ノ三三)

——「尾形月耕画表紙絵」 花浪生 (二六ノ三)

小舟町天王御旅出の圖 (六五ノ三九) 江戸歳事記ノ

内) 三十四

南傳馬町天王神輿渡御の圖 (六五ノ四〇、江戸歳事記

ノ内)

南傳馬町天王神輿渡御の圖 山本松谷画 (一五九ノ

八)

昔の——今の神田祭「口絵及写真入」 (四三三ノ七)

六月五日大傳馬町天王御旅出の圖 (六五ノ三八、江戸

歳事記ノ内)

三河國豊橋町の——「圖入」 多稼の屋 (二四二ノ六、

一四四ノ一三)

電報配達

——「圖入」 雙陽生 (三一八ノ六、甲斐世渡り種ノ内)

天白神社

遠江有玉の——の年籠 香室 (二七九ノ一五)

傳法村 (大改)

——風俗 霞蝶園主人 (三二二ノ二一)

天比山

常陸——「圖入」 野口勝一 (二三七ノ一九)

傳便

—— 閃影 (四五〇ノ二一)

天鼓羅

—— 大田多稼 (一〇四ノ二二)

天鼓羅見世

——「圖入」 多稼の屋 (一〇四ノ二七、江戸市中世渡り

種ノ内)

天満宮 日産戸——北野神社 七天神也 幸山見上

菅原 千年祭 (二五二ノ二)

大神 千年大祭 同会 (二五〇)

亀戸村——神事 (三九ノ一七)

京都洛中洛外天神二十五社 千種堂常娥 (二五三)

二三)

全国——御鎮座地一覽 千種堂常娥 (二四九ノ三一)

東山道——三浦常太郎 (二五三ノ二三)

浪華天満天神毫の池の図解「名和永年画入」 (七三ノ

一九)

南海西海両道——三浦常太郎 (二五三ノ二五)

二府各縣——壹百神祠社嘸拜記 三浦常太郎

(二四七ノ一三)

北陸山陽山陰三道——三浦常太郎 (二五三ノ二四)

洛陽——廿五社嘸拜 川井清胤 (二四七ノ一五)

天龍川

——「圖入」 渡辺白氏 (一九四ノ二八)

天倫寺

出雲國八束郡法吉村——内洗合山三宮墟「四六」 十川

寅一郎 (三四三ノ三三)

電話屋

—— 春嶺 (四一九ノ三八、京都新南賣往來ノ内)

テシ

三百四十五

獨逸

—の家庭と男女の交際 白眼子 (三六九ノ二五、

三九一ノ二三)

東海寺 紅葉をも見よ

—寶物 あしのは (三七九ノ三七)

東海道

—の各驛名物 春廼屋すみれ (三三四ノ二〇)

東郷平八郎

東郷大將書御製 (四四一ノ首)

闘牛

トイロウ

三六四十六

一圖 (五ノ裏絵)

伊豫の——「園入」 奥山藤三郎 (五八ノ一九、六〇ノ一〇)

銅牛水滴

九浦の歌碑並に—— 野口勝一 (三八三ノ三二)

東京 三江戸四歳事記「享安都三十年祭を七見よ

——、今昔 山下重氏

第一、本所松坂町二丁目「村分丹陵画入」 (四四二ノ四一)

第二、隅田川「吉崎北陵画入」 (四四三ノ一)

第三、上野公園「吉崎北陵画入」 (四四四ノ一)

第四、万世橋「吉崎北陵画入」 (四四五ノ一)

第五、御差の水「廣重画入」 (四四六ノ一)

第六、不忍池「長谷川雪日画入」 (四四七ノ一)

第七、鑑、渡と鑑橋「田沼青郊画入」 (四四八ノ九)

第八、角筈の十二葉「古園入」 (四四九ノ一)

第九、四谷門地「伊東白陽画入」 (四五〇ノ一)

第十、高田馬場「静雨画入」 (四五一ノ五)

第十一、涇川洲崎「古園入」 (四五二ノ一)

第十二、虎の門地「伊東白陽画入」 (四五三ノ四)

第十三、山谷玉姬稲荷神社附近「伊藤静雨画入」 (四五四ノ二)

第十四、御殿山「田沼直年画入」 (四五五ノ二)

——我親 左支郎 (四五五ノ一九)

上野山外に一新区を起すべし 野口勝一 (二九〇ノ一)

外人の觀たる——と京都 (四五七ノ九〇)

環都皆美 野口勝一 (六六ノ一)

新撰——大晦日八景 六人集 (四六五、六二)

新撰——歳事記 汲古齋主人編 (一五七、一五九)

大正——誌 城西隱士 (四七八、二一)

地名

——地名考 松本重考 (四七四、二)

名所

——總説並内廓之部、新撰東京名所図会第十五編

(一七三)

——名所記 (一三、一二)

新撰——名所図会

第一、二編、上野公園之部 (一二三、一三一)

第三至五編、浅草公園之部 (一三三、一三九、一四一)

第六至八編、芝公園之部 (一四三、一四五、一四九)

第九編、麹町、愛宕、清水谷公園 (一五一)

第十編、深川公園 (一五三)

第十一編、湯島、根津、白山、道灌山、飛鳥山、王子、高田、

下谷、緑町、塚本、日比谷公園 (一五五)

第十二至十四編、隅田堤 (一六一、一六二、一六七)

第十五編、東京總説並内廓之部 (一七三)

第十六至十九編、麹町区之部 (一七五、一七七、一八九、一九一)

第二十至二十四編、神田区之部 (一九三、一九五、二〇三、二〇五、二〇七)

第二十五至二十八編、日本橋区之部 (二〇九、二二〇、二二二、二二六)

第二十九至三十二編、京橋区之部 (二三八、二三一、二三六)

第三十三至三十五編、芝区之部 (二四一、二四四、二四六)

第五至三編 麻布区一部 (二四八、二五八)

第三七至三八編 赤坂区一部 (二六三、二七一)

第三九至四〇編 四谷区一部 (二七七、二八〇)

第四一至四二編 牛込区一部 (三一二、三四二、三四五)

第四三至四七編 小石川区一部 (三四八、三五二、三五三、三五六)

第四八至五〇編 本郷区一部 (三五八、三七三、三七五)

第五一至五三編 下谷区一部 (三七八、三八〇、三八二)

第五四至五八編 浅草区一部 (明治四十一年四月、五月、六月、七月、九月)

第五九至六二編 本所区一部 (大日本名所図会第六十号至六十二号)

明治四十一年十月、十一月、十二月

第六十三至六五編 浮川区一部 (大日本名所図会第六十三号至六十五号)

明治四十二年一月、二月、三月發行

東京驛

一「写真入」 (四六五、七三)

完成ハ近き中央停車場「写真入」 (四五四、四一)

竣工セ、中央停車場 (四六〇、首)

東京郊外

東京場「図六」 吐月居士 (三三〇、二二)

東京近郊

一「名所図会」 其一至第十七卷 (大日本名所図会、

第七十六號至第九十二號、明治四十三年二月至四十

四年十月)

第一、北郊、一部 (北豊島郡、地方橋場、千束、千住、

三河島、金杉、谷中、日暮里)

トウ
第二、北郊の部二 (南千住、千住、荒川堤、西新井、

田端、土河津陀)

第三、北郊の部三 (田端、平塚、中里、西ヶ原、瀧野川、

王子町、十条、徳丸ヶ原、板橋、荒川堤)

第四、東郊の部一 (南葛飾郡、葛西、葛飾、南綾瀬、

本田、大木、亀有)

第五、東郊の部二 (隅田、寺島、吾妻、亀戸)

第六、東郊の部三 (小名木川、笠川、横十間川、亀戸、

逆井橋、大島、砂村、中川、小松川、船堀村、金町寺)

第七、南郊の部一 (荏原郡、品川、北品川、南品川、御殿山)

第八、南郊の部二 (品川、大井町、下大崎、谷山、居木橋、

桐ヶ谷)

第九、南郊の部三 (大井町、目黒、三田)

第十、南郊の部四 (馬込村、平塚村、池上村)

第十一、南郊の部五 (入新井村、大森町、蒲田村、矢口村、

千束池、六郷村)

第十二、南郊の部六 (八幡塚、古川、町屋、高畑、雑色、道塚、

羽田村、森中、川崎、小向梅園、其他)

第十三、西郊の部一 (豊多摩郡、渋谷、青山、上渋谷、中渋谷、

下渋谷、渋谷、鷹尾、日暮黒村、上月黒、池尻、三宿、

太子堂、駒澤村)

第十四、西郊の部二 (荏原郡、世田ヶ谷村、松澤村、駒澤村、

玉川村、用賀、瀬田、千駄ヶ谷町、渋谷町、猿蓑)

第十五、西郊の部三 (代々幡村、内藤新宿、淀橋町、向笠、

トウ

中野町

第十六、西部の部四 (中野町、堀の内、新井、大久保、落合村、

戸塚)

第十七、西部の部五 (戸塚村、高田村、雑司ヶ谷、巢鴨)

江東の半日 青草生 (四五一、二六)

初秋の近郊 藻紋字 (四五〇、三五)

東京唱歌

一、成る 画報生 (三七四、四一)

東京市役所

一、閑廳式四六 画報子 (二七八、二四)

東京灣

一、魚 野口勝一 (二七六、一)

一、浪邊 知悦一雨 (四六一、五)

東宮御慶事

皇太子殿下御慶事千代乃祝 (三一)

東宮、御慶事 野口勝一 (二〇六、一)

東宮御所

新築の一、園入 (三八一、二)

燈火

江戸時代百萬塔、園入 千種園江戸散人 (一八〇、三一)

一八二、二二、一九六、二四)

銅貨

一、の形式改正 画報子 (一七四、二三)

洞慶院

トウ

三〇五十一

静岡近在の——関山志 香雪 (三一八、三)

東西屋

—— 田口年信画並解 (二九、六)

痘瘡 「痘種痘を以見」

—— 名義考 廣田星橋 (一三七、二二、二四〇、一六、二四二、

二五)

痘痕名義に就し 文屋汀蘆 (二四四、二六)

痘瘡の語、附種痘の由来「因」 富士川游 (九〇、一六、

九一、一四、九三、二二)

冬至南瓜

—— 甲子大根 河名文助 (二七九、一六)

通矢 「五十三問堂を以見」

凍傷

—— の療法 画報生 (三五七、三五)

藤樹書院

—— 参拜の記「因」 西川太次郎 (一五〇、三三)

燈心職

—— 圖 尾形月耕画 對皇堂主人解 (六二、一三、新

撰百工圖其二十一)

東照宮 「ウ上野」 —— 「エ江戶開府三百年祭」 三日光 「見」

名古屋—— 祭礼の山車 紅の家おいふ (三三三、九)

東照宮詣

—— 「因」 村田直景 (五二、四)

投扇興

—にりきし 好古道人 (三九ノ二一)

東禪寺浪士討入

高輪東禪寺浪士博闘の圖解「英、ワケマン画四六」

(二二ノ五、二二ノ六)

東大寺

大日本總國分寺(南都) —「四六」 岡田竹雲

(三五九ノ二七、三六〇ノ三〇、三六四ノ三九、三六八ノ二四、三六九ノ二六、

三七一ノ二四、三七四ノ二八、三七九ノ三一、三八一ノ三九、三八四ノ三二、

三八五ノ二八)

東方芝山

— まりり字生 (三七七ノ三二、崎人譚ノ内)

豆腐 コ氷 —を山見よ

—の敷々 菊地廣重(四世) (四五六ノ二八)

うすみ — 伊達虎峰 (三一六ノ二一)

夏季と — 画報生 (三四三ノ一七)

祇園 — 宮島春齋 (七二ノ一三、京名物ノ内)

東西の — 天保老人 (四七〇ノ八)

豆腐賣

—「四六」 春通舎すみれ (三三八ノ九、四日市、物賣

ノ内)

豆腐の賣子「四六」 濱田如洗 (三五二ノ五、京都、物賣

ノ内)

勃物

—の家庭 長橋芝翁 (四六八ノ二四)

トウ

三九

—の知識 (三八八、三三)

上總地方の—方名 林天然 (二八一、二三)

讀みにし見たる珍奇なる動植 (四八)

(二八三、二三)

世界—四説 林天然

第一 象 (四四一、五一) 第二 犀 (四四三、三五)

第三 獐 (四四五、四七) 第四 ヒツシ (四四六、二六)

第五 斑驢 (四四七、三二)

動物園

—の新動物 画報生 (三四三、一八)

上野—を親へ所思を記す 大田方次郎 (一三二、

二九)

東武鉄道

—新線 (百五八) 橋本桔梗 (三七四、二〇、三七六、二六)

豆腐屋

— (四八) (八五、一二、江戸市中世渡り種ノ内)

—の看板 (四八) 春迎会すみれ (三三四、八)

東陽堂懇親會

— (四八) 山下重民 (二六八、七)

燈籠 山田蘭金 (百五) — (百五) — (百五)

中橋の火行燈 (四八) 方寸金 (四二四、一三)

兩國橋畔の— (百五) 香色入 花浜生 (一七〇、三)

灯笼流し

駿河岡城の腰— (四八) 文柱子 (二四四、四)

燈籠祭

信濃五加村

飯島嬉笑 (七七ノ九)

砥鹿神社

三河岡

祭式 和吉一學 (二九二ノ四)

土方

—の道中(内)

賀陽生 (三一七ノ七、甲斐世渡種)

(内)

三河縣地方—の生活

賀奈旋 (三六八ノ一四)

津島葛城港

其中—

長光登久太 (二六七ノ三四)

時

—時間を見よ

土器

—古墳を見よ

土弓

寛政年間河岸地夕景(圖)—場

初代豊國画

(五七、二四)

時献

上

大田店村

(二四五ノ二)

時の鐘

上野—[写真入]

漢紋字彙 (四五二ノ二)

徳川昭武

—卿の葬儀

(四二一ノ二)

徳川家康

—東照宮を見よ

東照宮遺物展覧会

(四七四ノ一五)

徳川三百年祭

—江戸開府三百年祭を見よ

—「寫真」 (四七四ノ三九)

徳川氏廟 石台煙廟をい見よ

文恭公上野御廟御道具 高静杖 (三二四ノ二〇)

徳川齊昭

水戸烈公五十年奉 (四〇二ノ一〇)

水戸烈公の軍用金 蓬軒 (三二二ノ三九、三一四ノ三九)

徳川幕府 日大奥をい見よ

旧幕府殿中行事(正月) (一三二ノ二四)

殿中行事の事 福司神浦 (一〇六ノ八)

幕府年中行事 正月(一ノ四)、二月(三ノ六)、三月(三ノ四)、

四月(四ノ二)、五月(五ノ二)、六月(六ノ四)、七月(七ノ二)、八月

(八ノ四)、九月(九ノ二)、十月(一〇ノ二)、十一月(一一ノ三)、十二月(一二ノ三)

故實

旧幕士の家業仕録(四六) 中尾善徳門 (二六四ノ九、

二六七ノ九、二六八ノ五、二九五ノ三三、三九六ノ三三、四〇四ノ二七、

四一四ノ四〇、四一五ノ三四、四一六ノ三四、四一七ノ三四、四一九ノ

三四)

職制

幕府職制一斑 (七ノ三、八ノ三、一〇ノ六)

徳川幕府歐洲派遣修好使

幕府より歐洲派遣の修好使真圖(文久元年十二月)

(二一ノ首、二二ノ首)

外國人の記載せる幕府修好使の風俗をい見よ

山下重氏 (二二ノ三)

徳川幕府遣米使節

亞行日誌 森田行 (四四三ノ三三、四四四ノ四五、四四九ノ四四、四四六ノ三八、四四七ノ四一)

安政年間米團に於ける我使節の状況(四八) 小林杏

花記 (二四九ノ二、二五三ノ二)

徳川秀忠

— 公の誕生屋鋪 市川家三郎 (二五八ノ三二)

徳願寺

駿河—、山茶花 香雪 (三七八ノ三五)

徳島

— 雜親「團藍舟画」 岩田白蓮 (二八七ノ三一)

阿波—の風俗「團八」 花溪生 (一七〇ノ三九)

徳島城

—「團八」 鳥居龍藏 (三一ノ一三)

特殊小學校

— 画報生 (三六六ノ一七)

徳丸ヶ原

— (大日本名所圖會第七十八號、東京近郊名所圖

會第三、北郊の部其三ノ内)

徳利印附職

— 圖 尾形月耕画 蓮池畔人解 (一一六ノ九、新撰

百工圖共四十五)

時計 是時間を以見よ

— 磁石の代りをする (三九三ノ三五)

トクリトク

三百五十七

—は礫石と共に持つ可らず 今村天香 (三九二)

時計高

— 大田多稼 (二二五、一四、近世創始高職業其

時計臺

— 圖 (五三ノ裏絵)

床飾

— 一斑 本村一太郎 (三九四、一三)

床屋

— 區發結床、理髪店と見よ

土佐紙

— 今井貞吉 (一九、一七)

— 沿革考 福島成行 (三一、一四)

おし馬 (遊戯)

— 名古屋の — 花東一佳 (二〇六、二一)

年男 — 三三煤拂と見よ

— (二三四、五、民間行事新年の祝、内)

歳越

— 黒崎修齋 (二八三、一二、浪花風俗百箇、内)

神佛の — 渡部治兵衛 (六四、一九)

年越詣

— の奇習 伊達虎崎 (三三〇、四)

年玉

— (二二四、二〇、民間行事新年の祝、内)

二五五

—の事 荒本田晃重 (二二五、三、五十鈴、落葉、

内)

年の市

—「園入」 二橋生 (三七、二四)

—「雜觀」(写真) (四二八、三六)

—の盆裁 蕉雨生 (二〇一、三二)

—俳優の往来 初代豊園画 二橋生解 (六四、九)

歳晚浅草市の景況画 山田年忠画 (一一、六)

歳暮の市の園 中村百世解 (六四、二六)

浅草寺—の園 (六七、七二、江戸歳事記、内)

天保年間浅草—の園 長谷川雪旦画 (三七、一六)

文化年間浅草市の實況 内藤誠 (二六一、五)

歳暮

—の感「土佐経隆画入」 川崎千虎 (六三、二六)

—のさま〜 蓬軒 (二七九、二)

—交加図 (六七、七三、江戸歳事記、内)

—交加図 山本松谷画 (一五九、二六)

—交加之図 小林永濯画 (一一八、維新前江戸歳

事記、内)

お— 高橋おろか (三三、四)

大晦日の深更「園入」 (六三、三三)

戯曲に現けられた暮と春 吉丁字 (四七六、四九)

歳末市中の景況画 尾形月耕画 (一〇四、表紙)

歳の暮「山本松谷画入」 花浜生 (一五四、二)

會家春を待つ、図 中村百世解 (六四ノ二七)

各地の歳末新年 (六四ノ一三)

沖繩縣那覇の——新年「圖入」 龍宮遊客 (六三ノ五)

京都の——霞蝶園主人 (二〇ノ六)

京都、暮と正月 寿莊 (四七六ノ五七)

静岡の——香雲 (二七九ノ一四)

歳の夜祭

——河名文助 (二四五ノ八)

登城 正月元日「新年顔」——「初雪」——「見見」

図書館

公立私立—— (四一〇ノ二〇)

新築の帝國—— 西報生 (三三八ノ一七)

帝國——に就きて「圖入」 深見洗鱗 (二一八ノ一五)

東京市川深川——日比谷——写真 (四〇一ノ三六)

年忌

——の説 山下重氏 (二五四ノ一)

年忘れ狂言

御守殿——、図 (四八ノ首) 解 (四八ノ一九)

屠蘇酒

—— (二三四ノ五、民間行事新年の祝、内)

——「圖入」 醉霞居士 (八三ノ一四)

武家元旦屠蘇の式礼「圖入」 盧の葉 (三〇七ノ六、明治

以前正月の行事、内)

鯛打

—「圈入」 加瀬繩軒 (五七ノ一三)

戸塚村

— (大日本名所図会第九十一號、東京近郊各所図

会第十六、西部の部其四ノ内)

—「下戸塚」 (日本名所図会第九十二號、東京近郊各

所図会第十七、西部の部其五ノ内)

取替平

—「圈入」 渡部し羽 (四八ノ一七、江戸市中世渡り種其

四ノ内)

トツコイ

—「圈入」 (七四ノ二九、江戸市中世渡り種ノ内)

鳥取城

— 址と崩即「写真」 邑報生 (三七ノ二三)

都々一坊扇歌

— の巻 星橋主人 (二七三ノ三三)

都々一節

— 廣田星橋 (二六ノ三三)

賭博 賭事をも見よ

— の害を論ず 野口勝一 (四五ノ一)

山梨縣巨摩郡龍岡村 — 丸人捕合子「圈入」 賀陽生

(一八二ノ一六)

七鳥 (仲買)

大阪の — 永井李蹊堂 (三五七ノ一二)

トツコイ

三百六十一

鷺の者

——の子「因入」

くきよ

(一五四、三三、江戸市中世渡)

種ノ内)

鷺の女房圖

初代豊國画

(四二、一二、日本橋邊裏住

住之圖ノ内)

柳竹賣

——「因入」

醉霞居士

(九五、九、今様職人畫圖解ノ

内)

十日市

山形——

佐藤古玩

(一三二、二一)

十日夷

——「因入」

(二三四、四五、民間行事新年の祝ノ内)

十日觀音

伊勢國四日市——

すみん

(三三二、二〇)

十日夜

——高橋花月 (二七八、六)

信濃國南安曇郡佐村の——

小山珍事堂 (一九八、

九)

遠江國

——史蹟瑣談

淡遠小史

(三五〇、二七、三三二、〇七、

三五四、三九、三五五、三一、三五七、三六、三五九、二八、三六二、三二、

三六四、三一、三六六、三六、三七一、〇五、三七二、三八、三七四、三〇、

三八五、二六、三八六、二九、四〇四、三〇、四〇九、三一)

遠州國府みやげ

後藤秀穂

(四一〇、三一)

遠江名物

香室 (二三八、一九)

遠景

小金井、——「山本松谷画入」 山下重民 (二二〇、二)

富吉 富吉大崎——を見よ

富藏

——興行 蓬軒居士 (三四二、一〇)

三都の富札「図」 (四四三、首)

富札供養会、富の沿革「図入」 (四四三、八)

谷中天王寺富の図 (六一、江戸歳事記ノ内)

富田濱海水浴場 (伊勢国)

——伊達虎峰 (四四九、二三)

富本浄瑠璃

靱 (備後国沼隈郡)

——「山本松谷画入」 愛永生 (二八八、二三)

——の祭礼復興 三浦おしろ (四六二、二一)

巴鑛泉 (常陸国鹿島郡巴村)

——いひだ生 (四四一、三八)

富山

——市の大火 (明治三十二年八月十日)「図入」 (一九七、一五)

土用

——^{豊又豊}奥奥 山下重民 (四〇〇、一一)

土用干 ^七土用干を見よ

豊川吃松危天 (三河国)

——千種堂常城 (二四三、二八)

豊田八幡社 (豊河岡安倍郡豊田村大字八幡)

—の奉納小供相撲 香雲 (二三八ノ六)

豊臣秀吉 常泉寺 (尾張岡中村) を見よ

豊公三百年祭開會 (一六四)

豊太閤の遺跡 三浦常太郎 (一六五ノ二八)

豊臣秀頼

—天性愚にあらず 深津頭 (四二五ノ三〇)

虎 (寅)

— 花渡生 (三四二ノ三二)

— つくし菓子 月菓子を見よ

— と馬琴 佐野延郎 (四五三ノ六四)

— に因むもの 文の屋 (四五三ノ七一)

—の俳句 露通舎 (四五二ノ一一)

京阪—つくし (千支に因みし) 巴尾袋 (四五二ノ四六)

世界に於ける— 大鵬將軍 (四五三ノ三八)

大正二年千支に因む寅う巻 (書白) (四五三ノ四三)

寅—の名義 丙水仙史 (四五三ノ二一)

虎御前

—の事蹟 島田吊雨 (四五三ノ五七)

虎の門

— 旭「伊東白陽画入」 山下重氏 (四五三ノ四)

トラホーム

流行眼病— 画報子 (一九二ノ一六)

虎舞

南部の——「田取直年画入」 小野寺生（四五四、四）
トラムフ

鳥——及歌佳留多「富国永洗画入」 （三八、一五）
鳥 ハシ保護——をし見よ

薩摩——名殊稱 加藤尾花（二三三、二二）

薩摩——名殊稱補遺 加藤尾花（二六七、一六）

鷄合

——「因」（五一、裏終）

禁庭—— 山下重氏（五一、三）

闘鷄追考 塙忠韶（五三、八）

闘鷄並内々方及奥向御祝 萬里春（五二、一一）

鳥居火

信濃國新橋の—— 小山珍事堂（一四六、二）

松平の—— 青木勝久（二三五、一三）

鳥追

——（二二四、三三、民間行事新年の祝、内）

—— 方寸舎（四五三、六八、江戸の傳、内）

——「因入」 （三七、二七、今様職人書、内）

——「因入」 渡部乙羽（五〇、一三、江戸市中世渡り種

其五、内）

——「因入」 （六三、二三、元三名古屋の物買ひ、内）

——「因」 （一六、永濯画、江戸歳事記正月、因、内）

——の事 多志路（三七、一一）

鳥追（衆事）

鯨入及——「圖入」 大川香麩 (三八、一二)

信濃の萬物作と—— 小山珍事堂 (三八、九)

鳥追唄

—— 不知學樓主人 (三五、二六)

鳥追小屋

下野の——一名ボン／＼小屋 東岳山人 (二四三、七)

鳥小屋

—— (常陸磐城) 正月の風俗 珂北人 (六三、二五)

子供の建設したる——「四六」 奇山小史 (四九、九)

五。

鳥ナシ

——「圖」 洗一画 (四一、東絵)

鳥島

——の噴火 (明治三十五年八月十日) (二五六、四一、二五八、三三、

二六〇、三九)

鳥使

御在丸大奥年中行事十一月大奥より御住居へ御——

之圖 寺崎廣業画 (六、首) 蓬軒居士解

(六〇、六)

捕縄結集

——「圖入」 山寺鐘夢 (五八、一九)

雨の市

——「熊手を以見よ」 山下重民 (一五二、二八)

——「(原)」 山下重民 (三四、一一)

— 方寸舎 (三五四ノ四二)

— 「如洗画入」 花渡生 (一七六ノ五)

— 「画入」 花渡生 (二六〇ノ一九)

— 所見 藻紋生 (四七五ノ四六)

— 所見 ちりすけ (四五二ノ三八)

— 画 山本昇雲画 (四四〇ノ二六)

— にきはひの画 山島勝月画 (二二ノ九)

浅草田圃 — の画 (六七ノ六七、江戸歳事記ノ内)

静岡市双街の — 香雲 (三三〇ノ五)

土目さ

— 風俗の一端「写真入」 伊藤忠太 (三八三ノ三四)

弗箱

— 画 (ハハノ裏絵)

泥打祝

— 「画入」 (二二ノ八)

薯蕷汁

剥け日の — 河名雅齋 (二五五ノ八)

とんたりはねたり賣

— 「画入」 花渡生 (一一〇ノ三〇、江戸市中世渡り種ノ

内)

儀勝祭

根津三島郡岸部村の — 依藤菊三 (二六〇ノ一四)

とんと せ左義長の爆竹をも見よ

明石の — 井上直次郎 (六四ノ二三)

トロートン

三百六十七

伊勢地村の——

櫻御生 (二二七)七

大坂の——「因六」

花溪生 (二四二)六

薩摩のオレヒ焚き

加藤尾花 (二二九)八

駿河岩松村のドンク焼

香雪 (二四三)七

鳥取ウトンドロ

芳花山人 (二六二)二

三重縣赤須賀の——

ちどり (三五五)三

大和——

飯田東畔 (四一七)一三

ドンド花

伊勢齋宮の——「因乙」

有瀧園風 (二八八)一七

ドンク焼

信州稲荷山町——及入唄祝い

飯島嬉笑

(八三)六

蜻蛉狩

紀伊和歌山の——

氷下生 (二四八)一三

内地雜居

—の準備 山下重氏 (一三二ノ二)

—の近き(き) 野口勝一 (二八八ノ一)

内藤新富 目新富を見よ

中井梵庵、竹山、履軒

中井竹山先生等の墓 永井根津雄 (三六四ノ三六)

長唄

—「園入」 星橋山人 (一〇〇ノ二四)

芳村伊三郎翁—會「山本松谷画入」 花渡生 (一九二)

(二三)

ナインカ

三月六十九

中江藤樹

—先生の遺蹟「藤樹書院」
—入江好治郎 (二七)
— (三〇)

長尾鶏

—「圖」 (三一—九)

那珂川

—の漁業「圖」
—横田曉峰 (三六八—二七、三七—一五)

中川

— (大日本名所圖會第八十一號、東京近郊名所圖會第六、東郊の部其三ノ内)

中川克一

—君追悼會 (四四三—四五)

長之保赤水

—傳 三田村玄龍 (三五五—二九)

長崎

—石の — きちかゝ (三四三—一五)

中里

— (大日本名所圖會第七十八號、東京近郊名所圖會第三、北郊の部其五ノ内)

仲仕

— 四十年信函及解 (二五五—一四、浪花風俗百圖ノ内)

長篠

—河 — 古墳 稲吉一學 (二二〇—二五)

長田神社

鬼追を山見よ

長局

つぼね物語

方寸舎

(四六五ノ一三)

長手島 (能登園)

五峰庵

(三四六ノ三五)

長野共進會

「園入」

(三八九ノ三四)

中野の塔

「園入」

鷲尾陵匠人

(九一ノ二四)

中野町

「大日本名所図会第九十號、東京近郊名所図会第十五、西郊、部共三ノ内」

「大日本名所図会第九十一號、東京近郊名所図会第十六、西郊、部共四ノ内」

中山温泉 (加賀園)

中山慶子

雌鳥巖を山見よ

中山慶子

一位白薨志、葬儀「園入」

(三七四ノ三)

中山御詠歌踊)

田口年信画友解

(二六七ノ一三、浪花風俗而園)

「内」

長良川

鷲飼を山見よ

流灌頂

「園入」

坪川辰雄

(二三〇ノ三九、俗間通信録ノ内)

「内」

那谷寺 (加賀國江沼郡那谷村那谷)

加賀國江沼郡の——箇已 池田カケ子 (一五八ノ

二九)

自生山——箇己 雲洞子 (二三五ノ二ニ、二三七ノ二ニ、二三八ノ

二八)

夏越の袂

六月晦日——の箇 永濯画 (六ノ六、江戸歳事記

ノ附録)

奈古の浦 (越中國)

——キの字生 (三七七ノ二九)

名古屋

——開府三百年記念祭 (四〇八ノ三)

——氣質の半面 大鵬旅客 (四五六ノ七)

——二十一橋 三浦おいろ (四〇七ノ二〇)

——のぬ書し 紅の家おいろ (四二八ノ二二)

先帝と—— 三浦常太郎 (四三九ノ七)

尾州——堀川口置橋 西岸観花の箇 (四三一ノ一ニ)

名古屋城

尾張國——箇己 片野常次郎 (二九ノ一六)

尾張自慢、其二全城 醉霞居士 (一五〇ノ二ニ、一五二ノ二六、

一五四ノ二五)

茄子

百一—— 千種寺枡尺 (一〇二ノ二一)

那須温泉

那須案内 琴籠庵 (三八七ノ三〇)

夏

夏季の用意 星橋主人 (一九〇ノ三一)

初夏交加図 (六五ノ二九、江戸歳事記、内)

盛夏路上の図 (六五ノ三六、江戸歳事記、内)

夏足袋願

四月一日諸役人——図 (四ノ四、幕府年中行事、附

図)

撫子

——の語 林天然 (四〇〇ノ一五)

七味唐からし

——の図 渡部乙羽 (四六ノ一三、江戸市中世渡り種

其二ノ内)

七草(秋) 戸秋草を見よ

七草(春)

——の図 醉霞居士 (一三三ノ二四)

——の図 洗玉画 (六二ノ首) 乙羽解 (六三ノ二〇)

——の事 荒本田晃重 (三二五ノ五、五十鈴、落葉ノ

内)

——の説 林天然 (三五七ノ二七)

武家御殿年男正月——の式「四ノ六」 蘆の葉 (三〇七ノ八、

明治以前正月の行事ノ内)

若菜、——差「四ノ六」 (三三四ノ四三、民間行事新年の祝

ノ内)

ナ

三〇七ノ八

七種粥 貰らひ

——(摩摩) 鹽難舎 (二四九ノ二)

七塚村

加賀國——新年の吉書 池田ウケろよ (二〇二ノ三)

七不思議 三番町——まも見よ

浪華踊

大坂の—— (四三ノ二)

浪速艦

噺浪速 (四三ノ一八)

浪花節

—— 坂巻耕漁画 (三七ノ首)

苗代祭

遠江の—— 香雲 (三二四ノ四)

納札

—— 小供会 丙水仙史 (四五ノ一九)

—— 白筆版画交換会、内「写真」 (四七八ノ首)

千社札の今昔「写真」 高橋長秋 (四七八ノ三五)

納涼 三田窪河垂夕涼も見よ

—— 笹の家 (二二ノ四)

—— 「團」 山下重氏 (二九ノ一七、三〇ノ一四、三一ノ一七)

今は昔兩國の夕涼 (四三七ノ一九)

各地の—— (二四ノ二)

鴨川の—— 「團」 (四三四ノ二)

京都三條の—— 「團」 田口年信 (三三八ノ九)

橋下涼舟之圖

(都風俗化粧傳ノ内、附圖) (八〇四ノ五、
下決)

箱根玉簾、瀧と京都鴨河の——「名知永年画入」

二橋生 (七六、二八)

西園——圖 (六五、三四、江戸歳事記ノ内)

兩國橋附近の——山下重民 (四六、一、二)

緑陰の——「山本松谷画表紙絵」 花渡生 (一七〇、二)

納涼會

海樓の——「山本松谷画口絵」 蕉雨生 (一九四、五)

鍋屋

——「圖」 賀陽生 (三一〇、三、甲斐世渡、種ノ内)

鍋焼湯飇

——「圖」 目夜泣うらん とも見よ (六二、七、江戸市中世渡、種ノ内)

直江並續

越州逸事 坪井羽南 (四四五、四三)

蛤蚧狩

佃島の—— (三九九、二六)

ナラズハ切ラフ

紀伊國那賀海草辺の——「圖」 桔梗 (三八一、二四)

柄の賣

窮民食料柄粉と柄餅の製法 画報生 (三三八、一五)

成田

——鉄道名勝誌 (二七四)

成田山新勝寺

——たつを (二二七、二二)

ナホナリ

三四六十一

—の道難式(留入) (三五九ノ三)

成田山の断食者 画報生 (三四ノ四)

成東山不動堂 (上總国山成郡成東町)

— 珂北散人 (三二〇ノ三八)

鳴和の瀧 (山梨国河北郡小倉村)

— 五峰庵 (二六八ノ三八)

名和神社

— 写真入 (三六六ノ三三)

南葵文庫

— 安礎式 画報生 (三三九ノ八)

南極探検

— (四二一ノ二七)

— (四一六ノ二二)

— 隊の帰朝 (四三三ノ一一)

南禅寺

摂津武庫郡一玉山 — 佐藤菊三 (二五八ノ二九)

ぢんでい御用

— 清水湖堂 (二四三ノ九)

南北朝正閏問題

— (四一八ノ五)

南北朝史實論決定 (四二三ノ一七)

南洋

— 諸島の風俗(写真入) (四三四ノ二二、四三五ノ二〇)

— の正月 正月を見よ

南洋土人

——の調度図解「図六」 (四三三ノ二九)

南洋土人語

南洋土人の言語 (四七二ノ一九)

二

——盡左右競(番附) (四四一ノ三七)

乳巖

三河國川合の石橋及—— 七原姓 (一三八ノ三八、一四〇)

三四

荷負棒

—— 河名支助 (二六二ノ二四)

荷切りつき

——「圖八」 花浪生 (一五六ノ三三、江戸市中世渡り種

ノ内)

二

仁木義長

——の墓(伊勢) 春迎舎墓 (三三九ノ三五)

肉賣店 手牛肉店をい見よ

—— 多稼の屋 (一二七ノ一四、近世創始高職業其七)

肉食 日獸肉をい見よ

荷車

——「園」 坪川辰雄 (一八〇ノ三三、若狗あはせノ内)

二月堂 松明

奈良—— 及水取式 平尾夢外 (五三ノ七)

ニコライ大主教

——の葬儀「写真入」 (四三〇ノ九)

西英村

加賀國河北郡——の葬儀 池田サケヲ (一九六ノ

九)

加賀國河北郡——風俗 池田サケヲ (一八二ノ一〇、

一八五ノ五、一八七ノ六、一八八ノ七、一九〇ノ一三、一九二ノ一三、一九四、

一三、一九八ノ一〇、二〇一ノ一一、二〇八ノ一二、二一三ノ一〇、二一六ノ九、

二一八ノ七、二二五ノ七、二二九ノ六、二三〇ノ七、二二三ノ一五、二三五ノ

九、二三七ノ八、二三八ノ九、二四五ノ九、二四七ノ四)

西新井

——弘法大師 (大日本名所図会第七十七號、東京近

郊名所図会第二、北郊の部其二ノ内)

西ヶ原

—— (大日本名所図会第七十八號、東京近郊名所圖

会第ニ北郊の部其三ノ内

西陣織物

— 宮島春雷 (七四、二六、京名物ノ内)

二十軒茶屋

— 秋の屋主人 (三九一、一六、江戸風俗句解ノ内)

二十六夜待

— の図 (六七ノ首、江戸歳事記ノ内)

金澤、— 池田のけろろ (二四〇ノ六)

高輪の— 山本松右衛門 山下重民 (一一一、二)

西山

常陸— 碑 山下杵里 (三一八、三八)

偽療兵

日英同盟

— 一記者 (四六七ノ四)

— 協約改訂 (四二三ノ六)

日英博覧會

— 光景写真 (四〇九ノ四)

日蓮

— 西人開宗 第六百五十年 紀念大會圖會 (二五一)

日蓮宗

— 教義大意及略史 (二五二ノ二)

日露協約

— (三七一ノ三)

日露戦争

征露國會 第一編至第二十七編 (二八四、二八五、二八六、

二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、

二九六、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、

三一〇、三一三、三一五、三一七、三一九、三二一、三二三、三二五)

補遺 (三三三)

凱旋國會 第一編至第五編 (三〇八、三二九、三三一、三三五、

三四〇)

戦時所見 桔梗 (三一六ノ一〇)

ニツクイ

金澤の——と投板遊び 竹内南山人 (二一〇ノ一三)

日光

——大観 (四三六)

——の杉 正杉を見よ

日光登壇

慶安四年日光御祭礼行列 鈴木弘恭 (四五ノ二)

日光山強飯式

——「留入」 新井政毅 (五ノ一五)

日光東照宮

——の祭典「写真入」 (四七ノ一三)

日光三百年祭「写真入」 (四七一ノ四六)

明治戊辰の役に於ける日光廟社の保護者 (四三七)

三二)

日光明主登壇

——の図 (九ノ五、幕府年中行事ノ附圖)

ニツ

三百ノ十

日章旗

——の由来 文屋汀蘆 (一五六ノ三、一五八ノ三)

宇内第一の國旗 野口勝一 (二〇二ノ一)

日章の國旗 大田才次郎 (二一〇ノ一)

日清戦争

——図説 第一編至第十編 (七八、八〇、八一、八二、八四、
八六、八七、八九、九二、九六)

加賀國石川郡戦役忠死者記念碑除幕式 歌地山星

年 (二三八ノ三)

新年軍人留字宅の図解 山本松谷画 山下重民解

(八三ノ四)

征清第一軍戦死者記念碑竣工式(名古屋) 對月庵主

人 (二七〇ノ三)

征清第一軍戦死者記念碑の写真説明 千種堂晴城

(二三五ノ一七)

戦時東京市中の實況(四六) 山下重民 (八五ノ二)

第一東京祝捷大会(四六) (八三ノ九)

新田神社 子矢口村をこ見よ

新田義貞

——朝臣の祈願書 浅見作太郎 (二五六ノ四一)

——の墓 水島景鷗 (三一〇ノ三五)

日暮里村

—— (大日本名所図会第七十六號、東京近郊名所図
会第一、北郊の部其一ノ内)

二人乞食

—「門入」 渡部乙羽 (四八、一六、江戸市中世渡り種

其四ノ内)

二才郡

陸奥国二才郡の名物 切草 (二二〇ノ一七)

二宮尊徳

—翁五十年紀念會 画報生 (三三〇ノ一〇)

二八蕎麥

—蕎麥を見よ

—の巻

水島景鷄 (三一〇ノ三四)

新高山

—の植物 已植物を見よ

新見豊前守

—子徳川幕府遺事使節を見よ

— 十島久 (九七ノ二六)

入營

青山練兵場 — 者集合の図 黒崎修齋画 (二〇一)

首)

丹敷戸田

—の塚(記号) 春逆舎すみれ (三三四ノ三六)

日本

—の國旗 石川鴻齋 (四三ノ二)

—の國旗に就く 玩古道人 (四四ノ二六)

—の稱呼を論ず 珂北仙史 (三七ノ二)

——歴代の富力 高橋秀臣 (四七〇、三八)

珂北仙史に参考書を呈す 真清園 (三九、二五)

韓國併合——の富力 高橋秀臣 (四一四、二四)

皇風大意 鈴木重嶺 (一六六、三五、一六八、三四)

和歌の名称に就て真清君に告ぐ 山下重氏 (四〇、二六)

日本園

米國の——「因六」 画報子 (二六、一五)

日本皇室

皇室の御結婚式 (三九七、五)

日本語 「さす」「さぶ」等言葉の方言をい見よ

日本橋 「さし魚市場をい見よ」

——の「高札」 あしりは (三七六、三五、江京雜記ノ内)

——開通式写真入 (四一九、三六)

——新年の景況 山本松谷画 (一五七、一〇)

橋架換渡り初の事 城田幸錦 (四四、一〇)

日本橋區

——ミ部、新撰東京名所圖会第二十五編至第二十八編

(二〇九、二二〇、二二二、二二六)

日本橋晒物 晒物「せ九僧」をい見よ

——秋の屋主人 (三九一、一八、江戸風俗句解ノ内)

者大豆賣

——宮島春齋 (一五二、一九、京都賣物屋風俗ノ内)